

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
1	(3) こころの健康・休養	母子健康手帳の交付	母子健康手帳の使用方法的説明や心身の健康状態の確認を行い、母子の健康保持増進を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	母子健康手帳の使用方法的説明や妊婦健診、乳児健診の受診券についての説明を行います。また、個別面接により健康相談や栄養相談を実施します。	交付者数	730人	母子健康手帳発行時の面談の機会に妊婦の健康相談や栄養相談を実施しました。母子健康手帳発行者数 700人（見込）母子健康手帳交付時に妊婦アンケートをとり、妊娠・出産などについての個別相談を実施しました。	A	交付者数	730人	親子	無		
2	(3) こころの健康・休養	ウェルカムベビー教室	妊娠中の生活や育児について理解することで妊娠・育児期の不安の軽減を図り、仲間づくりの場として孤立感の解消を目指す。また夫の協力を得ることなどで家族が育児へ積極的に関わられるように促す。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	妊婦が夫や家族とともに参加し妊娠出産に関する講話、妊婦ジャケット・沐浴、心音聴取などの体験と、出産や育児についての情報交換の機会を持ち、仲間づくりの場とします。	参加者数（妊婦）（家族他）	妊婦60人 家族60人	妊婦とその夫や家族を対象に妊婦教室を開催しました。妊娠中、出産後の健康管理、栄養指導や沐浴実技などを実施しました。実施回数 4回（日曜日開催）参加者数 妊婦54人、夫・家族57人（見込）夫や家族と一緒に参加することで妊娠出産・育児についての家族の理解が深められ妊婦の不安軽減につながりました。	A	参加者数（妊婦）（家族他）	妊婦90人 家族90人	成人	有	助産師	
3	(3) こころの健康・休養	こんにちは赤ちゃん訪問	母親の育児不安の解消と育児支援を図り、乳児の心身の成長発達の観察の場とする。要支援家庭や虐待家庭の早期発見の場としても活用する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	出生1～2か月児宅を家庭訪問します。身体計測、発達チェック、栄養や育児相談・指導健診、相談、教室等の紹介やその他制度（予防接種等）の説明を行います。	出生児に対する訪問率	95.0%	生後1～2か月児宅を保健師・助産師が家庭訪問し、身体計測や育児・栄養相談を実施しました。訪問件数 660件（見込）訪問率 95.0%児の発育や育児に関する母親からの相談を受け育児不安の軽減につながりました。	A	出生児に対する訪問率	95.0%	乳幼児	有	医療機関 保健所 民生委員・ 児童委員	
4	(3) こころの健康・休養	妊婦・乳幼児訪問	妊娠期の不安や母親の育児不安の解消と育児支援を図り、乳幼児の心身の成長発達の観察の場とする。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	家庭訪問により、身体計測、発達チェック、栄養や育児相談・指導、養育支援などを行います。必要に応じて関係機関と連携をとり継続的に訪問支援を実施します。	訪問件数（延）	延110件	妊婦・乳幼児宅へ保健師が定期的に訪問し、継続して発達の経過観察や療育支援を実施しました。訪問件数 延180件（見込）訪問により育児環境などを観察しながら育児支援をすることで母親の育児不安の軽減につながりました。	A	訪問件数（延）	延120件	乳幼児	有	医療機関 保健所 保育所、 幼稚園 民生委員・ 児童委員	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
5	(3) こころの健康・休養	ブックスタート事業	乳児期から絵本の読み聞かせを通して親子のスキンシップ、ふれあいを深める。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	こんにちは赤ちゃん訪問で絵本を配布し、乳児期から絵本の読み聞かせがスキンシップ、ふれあいを深めることを啓発します。また図書館、子育て包括支援センターと連携し、読み聞かせの会などの情報を発信します。	配布率	95.0%	こんにちは赤ちゃん訪問時に絵本を配布し、絵本の読み聞かせを通してのスキンシップについての説明をしました。 配布数 660冊	A	配布率	95.0%	親子	有	読み聞かせボランティアグループ	
6	(3) こころの健康・休養	産後ママのリフレッシュタイム	母親同士の交流の場とするとともに日常の子育てから少し時間を離れる機会を持つことにより、精神的リフレッシュを図る。産後シェイプアップを図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	母親同士の交流の場とするともに日常の子育てから少し時間を離れて、インストラクターの指導のもと、産後シェイプアップを図る。また育児による腰痛や肩こりなどを軽減し、心身ともにリラックスを図る。ストレッチと整体を年4回開催します。他の母子関係の教室時にも開催案内をしていきます。	回数参加者数（組）	4回 20組	母親同士の交流を図り、産後のシェイプアップを図ることが出来、また育児による腰痛や肩こりなどを軽減し、心身ともにリラックスを図ることが出来ました。 実施回数 4回 参加者数 13組	B	回数参加者数（組）	4回 20組	親子	無		
7	(3) こころの健康・休養	乳幼児相談	相談することで育児不安を軽減し、また子育てに自信を持ってもらうとともに、他の母との交流を持つことにより、よりよい育児環境づくりを支援する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	育児不安を軽減し、また他の母との交流を持つことにより、よりよい育児環境づくりを支援するため子育て相談を実施します。	相談件数（延）	延 1,700 件	本庁・各支所などで月1回乳幼児相談を実施しました。（身体計測、育児相談、栄養相談） 実施回数 96回 相談件数 延1,450件（見込） 育児についての相談を受けることで母親の育児不安の軽減の場となりました。また、母親同士の交流の場となっています。	B	相談件数（延）	延1,100 件	乳幼児	有	民生委員・児童委員	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
8	(3) こころの健康・休養	子育て支援センター事業	遊びや親子体操などを通じて親子のふれあいや仲間づくりを図る。育児の不安軽減を図る。	こども家庭課	次世代育成支援対策地域行動計画	親子体操、手遊び、読み聞かせなどの教室や子育てについての相談を実施します。	回数 参加者数 (組)	430回 5,890組	人形劇、紙芝居、読み聞かせ、手遊び、音楽あそび、コンサート等の事業を計画し、実施しています。また、発達や栄養相談も行っています。27.1月末現在 438回 参加者数 6,003件 相談件数1,021件	A	回数 参加者数 (組)	700回 5,000組	親子	有	保育士・読み聞かせボランティアサークル	
9	(3) こころの健康・休養	親子のびのび親子教室	親子で運動する機会を提供し、幼児の発達を促すとともに健康増進への知識の普及を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	親子でプールの教室を開催します。実施回数15回 参加者数 120組 240人	回数 参加者数 (組)	15回 120組	水中運動を行うことで子どもの水慣れだけでなく保護者の水中運動にもなり、親子でリラックスしながら安全安心に運動できると好評でした。また、今年度は父の参加もありました。はじめは泣いていた子ども泣かなくなり、成長を感じ取りやすい教室となりました。実施回数 16回(見込) 参加者数 220組(見込)	A	回数 参加者数 (組)	15回 120組	親子	有	スポーツインストラクター	
10	(3) こころの健康・休養	1歳6か月児健康診査	幼児初期の身体発育、精神発達の面で、歩行や言語障がいなどの指標が得られる1歳6か月時に健康診査を実施することにより運動機能の遅れや、精神発達の遅れなど障がいをもった幼児を早期発見し、適切な指導・早期治療につなげる場とする。また、生活習慣の自立を促し、栄養・歯科保健の相談指導を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	1歳6か月児に対して、問診、身体計測、診察（小児・歯科）、保健相談・指導（育児、栄養、歯科）、心理判定等の健康診査を実施します。（集団健診）	受診率	97.0%	1歳6か月児健康診査において身体計測や診察・保健指導・栄養指導等を実施しました。受診者数 660人(見込) 受診率 97.0%(見込) 発達のチェックの他、育児に関する保護者の悩みの相談の機会となっています。必要に応じて心理相談や2歳児相談につなげました。	A	受診率	97.0%	乳幼児	有	医師会 歯科医師会	
11	(3) こころの健康・休養	2歳児相談	1歳6か月児健診時に身体、言語、行動、精神発達面で経過観察が必要な児を引き続き支援する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	1歳6か月児健診時に身体、言語、行動、精神発達面など問題のある児を引き続きため、2歳時において発育、発達チェック、心理相談、栄養相談を実施します。	実施回数	12回	1歳6か月児健康診査で心身の発達において要経過観察となった児の経過を確認する機会として2歳児相談を実施しました。実施回数 12回 来所者数 170人(見込) 心理発達についての経過観察児には心理相談員による発達チェックや心理相談を実施し、必要時には専門機関の紹介や育児教室「にこにこ広場」への参加の勧奨をしました。（心理相談件数24件）(見込)	A	実施回数	6回	乳幼児	有	保育士・幼稚園教諭・心理判定員・歯科衛生士	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
12	(3) こころの健康・休養	3歳児健康診査	運動機能の巧緻性や技巧的な発達、言語発達を基盤として社会性の発達、身体面・精神面に顕著な発達を示す3歳6か月時に健康診査を実施することにより、運動・視聴覚・精神発達の遅延などの障がいをもった幼児を早期発見し、早期治療・療育につなげる場とする。また、生活習慣の自立を促し、必要に応じて保健相談・指導を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	3歳6か月児に対して、問診、身体計測、診察（小児・歯科）、保健相談・指導（育児、栄養、歯科）、心理判定等の健康診査を実施します。（集団健診）	受診率	92.0%	3歳児健康診査において身体計測や診察・保健指導・栄養指導を実施しました。受診者数 700人（見込） 受診率 94.0%（見込） 発達のチェックの他、育児に関する保護者の悩みの相談の機会となっています。必要に応じて保育所での様子確認や幼児教室（にこにこ広場）、専門機関の紹介をしました。	A	受診率	95.0%	乳幼児	有	医師会 歯科医師会	
13	(3) こころの健康・休養	幼児教室（にこにこ広場）	2歳相談時や3歳児健診後に遊びを通じて言語、行動、精神面の発達を促す。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	親子ふれあい遊び、テーマ遊びなどを通じて発育発達を支援します。	参加者数（延）	延560人	心身の発育・発達を支援するための教室「にこにこ広場」を実施しました。実施回数69回（見込） 参加者数610人（見込） 精神発達の様子を経過観察し必要時には専門機関を紹介しました。	A	参加者数	延580人	乳幼児	有	保育士・幼稚園教諭・心理判定員・助産師・歯科衛生士	
14	(3) こころの健康・休養	出前講座	子育て支援・生活習慣病予防などについての健康情報の提供の場とする。各種団体などからの要請を受けて実施する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	健康づくり全般・介護予防についての講話やレクリエーションなどを実施します。特に栄養や運動をテーマとした生活習慣病予防についての講話をします。	実施回数 参加者数	240回 5,500人	各地域の老人クラブやサロン、子育てサークルなど各種団体からの依頼により出前講座を実施しました。実施回数210回（見込） 参加者数4,500人（見込） （内 こころの健康115回、2,200人）（見込）	A	実施回数 参加者数	240回 4,500人	全般	有	老人クラブ 自治協議会 医師会 歯科医師会	
15	(3) こころの健康・休養	思春期保健事業（いのちのはぐくみ事業）	普段ふれあいの機会の少ない児童・生徒に乳児と触れ合う機会を提供し、母性や父性を育むとともに、生命の尊厳や性に関する教育を行うことにより、心身の健全な育成を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	乳児とのふれあい体験や赤ちゃんの誕生・性感染症等性についての学習する教室を小中学校と連携して開催します。	実施回数	9回	小中学校と連携して、思春期教室を実施しました。実施回数6回（見込） 参加者数253人（見込） 小中学生が命の大切さを学ぶ機会となりました。	C	実施回数	[45]回	児童（生徒）	有	小中学校・助産師ほか	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
16	(3) こころの健康・休養	家庭児童相談事業	家庭児童相談員を設置し、子どもに関する様々な問題について、家庭などからの相談に応じる。また、関係機関と連携・情報共有しながら、家庭への訪問など継続した支援を行い、それらに関係した業務を行う。	福祉相談調整課	次世代育成支援対策地域行動計画	家庭児童相談員を設置し、子どもに関するさまざまな問題について、家庭からの相談に応じます。また、家庭への訪問やケース記録を管理することにより、継続した支援を行います。	件 (児童相談件数(新規))	200件	家庭児童相談員を配置し、子どもに関する様々な問題について、家庭からの相談に対応しました。また、家庭への訪問やケース記録を管理することにより、継続した支援を行いました。(新規相談件数(見込み) 220件)	A	件 (児童相談件数(新規))	200件	幼児・児童(生徒)	有	児童相談所、教育委員会、学校、保育所(園)、幼稚園等	
17	(3) こころの健康・休養	不登校児童生徒支援事業	適応指導教室において学校復帰を支援するため、スクールカウンセラーの配置など教育相談活動を実施する。	学校教育課	健康21(第2次計画)	不登校に係る教育相談及び適応指導に関して、通級生に対する伊賀市教育研究センターふれあい教室(適応指導教室)・福祉相談調整課と連携した対応を推進します。	ふれあい教室へのスクールカウンセラー配置人数	2人	全小中学校から毎月、不登校及び不登校傾向の児童生徒の状況の報告を求め、その情報をふれあい教室・こども家庭課と共有し、カウンセラーを活用するなどして早期の対応に努めました。また、不登校児童生徒の背景の1つである虐待についてこども家庭課・児童相談所等の関係機関と連携を図りました。	A	ふれあい教室へのスクールカウンセラー配置人数	2人	児童(生徒)	有	児童相談所	
18	(3) こころの健康・休養	生活習慣病予防教室	生活習慣病の予防など健康の保持増進のため、各自が日常生活を見直す場とし、問題点を改善し、実践していただけることを目指す。	健康推進課(各支所住民福祉課)	健康21(第2次計画)	メタボリック症候群予防のための栄養と運動をテーマにした教室(特定保健指導)を実施します。また、島ヶ原温泉やふっちゃん「まめの館」の運動施設を拠点にメタボリックシンドロームの予防教室等を行います	特定保健指導参加率	9.5%	特定健診後の特定保健指導として「アンチエイジング教室」を実施しました。 実施回数6回 参加者数21人参加率5.6% (延108人)  まめの館 65回 530人(見込) 毎回30分の健康に関する講話のあとストレッチや筋トレ、ヨガやダンスエクササイズなど、多彩な内容の運動を盛り込み、メタボリックシンドロームの予防および運動習慣の定着を図ることを目的に実施しました。	C	特定保健指導参加率	12.0%	成人・高齢者	有	医師会	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
19	(3) こころの健康・休養	健康相談	心身の健康についての相談に応じ、必要な指導や助言をすることにより自身の健康管理を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	市民一人ひとりの健康に関する相談を、集団・個別（電話相談含む）で実施します。	相談件数（延）	延2,500件	健康に関する相談事業を実施しました。 実施回数100回（見込） 相談件数1,800件（見込） 電話相談600件（見込） こころの健康の相談を受け、傾聴するとともに必要時には専門機関へ紹介しました。	A	相談件数（延）	延2,500件	全般	有	老人クラブ 自治協議会 医師会 歯科医師会	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
20	(3) こころの健康・休養	女性相談事業	女性相談員を設置し、DVなどの問題を抱える女性からの相談に応じ、DV被害者の保護や自立、相談者の問題解決のための支援、それらに関する業務を行う。	福祉相談調整課	次世代育成支援対策地域行動計画	女性相談員を設置し、DV等の問題を抱える女性からの相談に応じ、対象者の保護や自立への支援、それらに附随する業務を行います。	女性相談件数	300件	女性相談員を配置し、DV等の問題を抱える女性からの相談に応じ、対象者の保護や自立への支援、それらに附随する業務を行いました。（新規相談件数（見込み） 400件）	A	女性相談件数	300件	成人	有	警察署、女性相談所等	
21	(3) こころの健康・休養	家庭訪問	家庭訪問により、心身の健康についての各種相談に応じるなどの必要な支援をします。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	家庭訪問によりこころの病気に関する個人や家族からの相談や医療機関など関係機関連絡調整を実施します。	訪問件数（延）	延180件	家庭訪問により、心身の健康に関する保健指導、相談等を実施しました。 訪問件数50件（延200件） 家庭訪問により健康についての相談を受けるとともに必要に応じて専門機関への紹介、受診勧奨や家族・支援者などの調整をしました。	A	訪問件数（延）	延300件	全般	有	医療機関・民生委員・児童委員	
22	(3) こころの健康・休養	こころの健康教室 自殺予防啓発事業	身近な地区に気軽にこころの相談ができる人を育成し、こころの健康づくりを推進する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	街頭啓発（チラシ・ティッシュ配布） 自殺予防週間に懸垂幕掲示 こころの教室 メンタルパートナー養成講座を実施します。	メンタルパートナー養成者数	300人	こころの健康づくり教室を開催しました。 実施時期 9～10月（4回） 参加者数 延196人 続・こころの健康教室（OB教室）を開催しました。 開催日12月12日 参加者18人  自殺予防週間及び月間の啓発を行いました。 実施時期 9/10～16、3/31（予定） 内容 啓発物品（絆創膏、ティッシュなど）配布 メンタルパートナー養成講座を実施しました。 実施回数5回 養成者数150人	C	メンタルパートナー養成者数	[2,000]人	全般	有	こころの健康センター 伊賀保健所 メンタルパートナー指導者	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
23	(3) こころの健康・休養	健康づくり講演会	健康づくりについての知識を普及・啓発し、市民一人ひとりの意識を高める。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	こころの健康づくりをテーマにした講演会を開催します。 開催予定日：8月30日 内容：講演「統合失調症がやってきた」 講師 松本ハウス	参加者数	100人	「伊賀流 元気まるごと応援フェスタ」において健康づくり講演会を開催しました。 実施日 8月30日 場所 あやま文化センター 内容：講演「統合失調症がやってきた」 講師 松本ハウス 参加者数 250人	A	参加者数	150人	全般	有	食改善推進協議会・健康づくり推進員・民生委員・児童委員・メンタルパートナー	
24	(3) こころの健康・休養	伊賀市健康づくり推進員(健康の駅長)養成講座	地域の健康リーダー（推進員）として、健康づくりの知識を習得するとともに、地域活性化・地域ぐるみでの健康づくりを図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	市の健康づくり事業に積極的に参加し、地域で諸団体と連携しながら健康づくりに関するイベントを実施するなど、健康づくりのリーダーとして地域で活動してもらえよう健康づくり推進員のスキルアップのため各種養成講座を開催します。	養成講座開催回数	5回	健康づくり推進員（健康の駅長）のスキルアップのための講座を開催しました。 実施回数4回(見込) 参加者数 延200人(見込) 健康の駅長養成講座として「健康づくりとは」と題して伊賀保健所長の講演などを実施しました。	A	実施回数	[25]回	全般	有	医師会・歯科医師会・薬剤師会	
25	(3) こころの健康・休養	高齢者生きがい事業（高齢者生きがいセンター）	閉じこもりがちな高齢者が憩える場所として高齢者生きがいセンターなどの利用を図ります。	介護高齢福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	閉じこもりがちな高齢者が憩える場所として高齢者生きがいセンターなどの利用を図ります。	利用者数	9,200人	マッサージ器や、ヘルストロン等の健康器具を配備し、閉じこもりがちな高齢者の交流の場として、活用していただいています。 利用者：3,240人(見込)（月250人から300人の利用があります。）	E	利用者数	9,500人	高齢者	有	伊賀市社会福祉協議会	
26	(3) こころの健康・休養	家族介護支援事業（家族介護教室）	在宅で高齢者を介護している家族の負担軽減のため、適切な介護方法や介護予防について学ぶ家族介護教室を開催します。	介護高齢福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	在宅で高齢者を介護している家族の負担軽減のため、適切な介護方法や介護予防について学ぶ家族介護教室を開催します。	実施回数	12	基本的な介護方法を学び、また介護知識の向上を図ることで在宅介護における負担の軽減を目指しています。 実施回数3回（見込）	F	実施回数	15回	高齢者	有	伊賀市社会福祉協議会、社会福祉法人	



(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
27	(3) こころの健康・休養	家族介護支援事業（認知症高齢者家族やすらぎ支援事業）	認知症高齢者を介護している家族に休息が必要な時、やすらぎ支援員が訪問し、見守りや話し相手を行います。	介護高齢福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	認知症高齢者を介護している家族に休息が必要な時、やすらぎ支援員が訪問し、見守りや話し相手を行います。	時間	841	認知症高齢者を在宅介護している介護者に対して、外出時や休息時対象者の介護を行いました。原則として直接体には触れませんが、トイレへの誘導等必要時は対応します。市全体で計570時間のアシスト実績でした。	C	時間	841時間	高齢者	有	伊賀市社会福祉協議会	
28	(3) こころの健康・休養	家族介護支援事業（家族介護者交流事業）	高齢者を介護している家族を一時的に介護から解放し、介護者相互の交流を通じて心身の元気回復を図るための交流会を開催します。	介護高齢福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	高齢者を介護している家族を一時的に介護から解放し、介護者相互の交流を通じて心身の元気回復を図るための交流会を開催します。	参加者数	30人	高齢者を在宅介護している家族に対して、日常生活介護から一時的に開放し、同じ経験を持つ他の家族と親睦旅行等を行い、その中で経験に基づく交流を図ることで英気を養っていただく取り組みを行いました。今年度の事業では31名の参加がありました。	A	参加者数	40人	高齢者	有	伊賀市社会福祉協議会	
29	(3) こころの健康・休養	生きがい活動通所支援事業	日常動作訓練や介護予防・認知症予防のプログラムを提供する通所サービスを実施します。	介護高齢福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	日常動作訓練や介護予防・認知症予防のプログラムを提供する通所サービスを実施します。	実施回数	1,000回	高齢者が家に閉じこもることなく、生き生きとして自立した生活が送れるように、日常動作訓練や生きがいを感じられるようなさまざまな活動を行っています。介護保険法の要介護・要支援に該当しない高齢者を対象に、伊賀市社会福祉協議会のほか2ヶ所の居宅事業所に業務委託して実施。基本利用者負担額 1回につき300円（事業所により別途加算あり）利用実績は3箇所25人のべ760回（見込）の利用参加があります。	B	実施回数	1,000回	高齢者	有	市内通所介護（デイサービス）事業所	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 〔 〕は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
30	(3) こころの健康・休養	介護予防教室開催事業	高齢者が要介護状態に陥ることなく健康な生活を送れるよう、アクティビティ認知症予防教室（高齢者パソコン教室、音楽療法教室、3B体操教室）、転倒予防・介護予防教室などを実施します。	介護高齢福祉課	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	高齢者が要介護状態に陥ることなく健康な生活を送れるよう、アクティビティ認知症予防教室（高齢者パソコン教室、音楽療法教室、3B体操教室）、転倒予防・介護予防教室などを実施します。	実施回数	730回	毎月市内の各公民館等において、認知症予防教室を開催しました。特に音楽療法や3B体操は認知症予防に効果的で好評でした。 実施回数 620教室（見込） 延参加人数 13,200人（見込）	B	実施回数	750回	高齢者	有	伊賀市社会福祉協議会、社会福祉法人8事業所	
31	(3) こころの健康・休養	広報・ケーブルテレビなどへの普及啓発	健康に関する情報を掲載し、健康情報についての啓発を図る。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	広報紙、ケーブルテレビ、ホームページにて随時保健事業や健康についての情報提供を実施します。	実施回数	80回	健康づくりに関する情報提供を行いました。 （広報・CATV・ホームページ等） 実施回数120回（見込） （うちこころの健康15回） こころの健康について情報提供をしました。	A	実施回数	80回	全般	有	医師会・歯科医師会・歯科衛生士会・自治協・伊賀上野CATVなど	
32	(3) こころの健康・休養	障がい者相談支援センター運営事業	市役所内に設置している障がい者相談支援センターの相談支援専門員が、福祉サービスの利用助言・社会資源を活用するための支援・社会性活力を高めるための支援・権利擁護のために必要な支援・専門機関の紹介および調整を行う。	福祉相談調整課	障がい者福祉計画	伊賀市障がい者相談支援センターに専門の相談支援員4名を配置し、障がい者及び家族からの総合的な日常生活相談の対応や障害福祉サービスの利用調整等を行います。	相談件数	7,000件	伊賀市障がい者相談支援センターに専門の相談支援員4名を配置し、障がいのある人及びその家族からの相談に対応するとともに、障害福祉サービスの利用等について関係機関との調整を図りました。 （平成26年度相談見込件数4,877件）	C	相談件数	〔35,000〕件	全般	有	各相談支援機関及び障害福祉サービス事業所等	
33	(3) こころの健康・休養	障がい者相談員設置事業	市が委嘱した障がい者相談員が、地域において障がい者などからの相談に応じ、地域生活の支援、地域活動の推進などに対し、必要な助言・指導を行う。	障がい福祉課	障がい者福祉計画	当事者及びその家族の中から身体障がい者相談員6名、知的障がい相談員3名、精神障がい相談員1名を委嘱し、それぞれの地域で障がい者及び家族からの相談に対応します。	相談件数	100件	当事者及びその家族の中から身体障がい者相談員6名、知的障がい相談員3名、精神障がい相談員1名を委嘱し、それぞれの地域で障がい者及び家族からの相談に対応しました。 26年度相談件数90件（見込）	A	相談件数	〔500〕件	全般	有	各相談支援機関等	

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
34	(3) こころの健康・休養	介護予防二次予防事業	要介護状態に陥る可能性の高い高齢者（二次予防事業対象者）を対象として、要介護状態になることを未然に防ぎ、住み慣れた地域で自立した生活が営めるように支援する。（運動器機能向上教室、口腔器機能向上教室、栄養改善指導、うつ予防支援）	地域包括支援センター	介護保険事業計画・高齢者福祉計画	65歳以上の市民を対象に（要介護認定を受けている人は除く）基本チェックリストを実施し、生活機能の低下の有無を判定します。生活機能の低下がみられる人に対して、介護予防プログラムへの参加を促します。介護予防プログラムは、通所型で「運動器機能向上教室」、「口腔機能向上教室」を実施し、訪問型で「管理栄養士等による栄養改善指導」、「保健師によるうつ予防指導」を実施します。	介護予防プログラム参加実人員（人）	230人	65歳以上の市民を対象に（要介護認定を受けている人は除く）基本チェックリストを実施し、生活機能の低下の有無を判定します。生活機能の低下がみられる人に対して、介護予防プログラムへの参加を促しました。〔実施見込回数〕 「運動器機能向上教室」60回、「口腔機能向上教室」10回、「管理栄養士等による栄養改善指導」6回、「保健師によるうつ予防指導」50回、介護予防プログラム参加見込実人員233人。	A	介護予防プログラム参加実人員（人）	270人	高齢者	無		
35	(3) こころの健康・休養	10代ママサロン	母が若年のため孤立化したり、人生経験が不足していることから生じる虐待を予防する。また、母自身が育児を通じ成長できるよう支援する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	初年度のため、年2回実施し交流と育児に関する話題提供を実施する。この教室を機会に他の事業に参加することや仲間作りにつなげる。	延参加者数	20人	初年度のため、年2回実施し交流と育児に関する話題提供をしました。この教室を機会に他の事業に参加することや仲間作りにつなげました。参加者数 4人	F	延参加者数	30人	親子	無		H26年度からの新規事業

(3) こころの健康・休養

伊賀市健康21（第2次）計画調査シート

No	分野	事業名	事業内容又は事業目的	所管課	計画名	平成26年度主な事業内容（予定）	指標		H26年度実施事業の進捗状況		平成28年度目標 [ ]は累計		主な対象世代	他団体との連携の有無	有の場合その団体名	備考
							単位	数値	事業の実施内容	評価	単位	数値				
36	(3) こころの健康・休養	0歳児サロン	最も不安の大きく、外出が困難である0歳児の親子を対象に、同じ月齢の親子の交流の場を提供することで不安の軽減と保護者のリフレッシュにつなげる。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	月1回実施し交流を主に、保護者の相談にも個々に応じる	延参加者数	240人	月1回実施し母親同士の交流の場や相談の場となりました。 実施回数 12回(月1回) 参加者数 延260人(見込)	A	延参加者数	300人	親子	無		H26年度からの新規事業
37	(3) こころの健康・休養	にこにこ広場卒業生ママサロン	要支援親子の教室は実施しているが、親同士の交流は少ない。育児やささまざまな悩みが多いと思われる保護者に対し交流会を実施することで母の精神的負担を軽減する。	健康推進課（各支所住民福祉課）	健康21（第2次計画）	要支援教室の卒業生に対し、アンケートとともにサロンの案内を送付する。近況報告とともに交流会を行い必要に応じて、支援につなげる。 福祉相談調整課（こども発達支援センター）と連携して実施します。	延参加者数	10人	要支援教室の卒業生に対し、アンケートとともにサロンの案内を送付し、近況報告とともに交流会を行いました。 参加者数 4人	D	延参加者数	30人	親子	有	福祉相談調整課（こども発達支援センター）	H26年度からの新規事業